

## 5

(教育学部, 理学部, 医学部, 工学部, 農学部)

1から20までの整数が1つずつ書かれた20枚のカードがある。以下の手順に従って、整数  $T_1, T_2, T_3, \dots$  を順次定める。

- ① 1枚のカードを取り出し、書かれている数を  $T_1$  とし、取り出したカードをもとに戻す。
- ② 1枚のカードを取り出し、書かれている数を  $T_1$  にかけた値を  $T_2$  とし、取り出したカードをもとに戻す。同様に、 $n = 3, 4, 5, \dots$  に対して、1枚のカードを取り出し、書かれている数を  $T_{n-1}$  にかけた値を  $T_n$  とし、取り出したカードをもとに戻す。

自然数  $n$  に対し、 $T_n$  が素数である確率を  $a_n$  とし、 $T_n$  が素数2個(同じ素数でもよい)の積である確率を  $b_n$  とする。なお、1は素数ではない。

次の問いに答えよ。

(1)  $a_1, b_1$  を求めよ。

(2)  $a_2, b_2$  を求めよ。

(3)  $a_n$  を  $n$  の式で表せ。

(4)  $b_n$  を  $n$  の式で表せ。

数学の試験問題は次に続く。

## 6

(理学部、医学部、工学部工学科理型入試(社会デザインコースを除く))

次の問い合わせよ。

(1) 不等式  $x^2 - 4x - 4 \leq -2|x-1|$  を解け。

(2) 関数  $f(x) = \log(\log x)$  の  $x = e^2$  における微分係数  $f'(e^2)$  を求めよ。

(3)  $S_n = \sum_{k=1}^n \frac{k}{n} e^{\frac{k}{n}}$  とおくとき、極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n}$  を求めよ。

(4) 極限  $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sqrt{3-2x} - \sqrt{3+2x}}{x}$  を求めよ。

数学の試験問題は次に続く。

7

(理学部, 医学部, 工学部工学科理型入試(社会デザインコースを除く))

$0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$  の範囲で定義された関数  $f(x) = \sin x - \sin^2 x$  を考える。次の問いに答えよ。

(1)  $f(x)$  の導関数  $f'(x)$  を求めよ。

(2)  $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$  における  $f(x)$  の増減を調べよ。

(3)  $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$  において, 2つの曲線  $y = \sin x$  と  $y = \sin^2 x$  で囲まれた図形を  $D$  とする。

(i)  $D$  の面積  $S$  を求めよ。

(ii)  $D$  を  $x$  軸のまわりに 1 回転させてできる回転体の体積  $V$  を求めよ。

数学の試験問題は次に続く。

8

(理学部, 医学部, 工学部工学科理型入試(社会デザインコースを除く))

複素数平面上の 3 点  $O(0)$ ,  $P(z_1)$ ,  $Q(z_2)$  をとる。ここで

$$z_1 = 2 - \sqrt{3} i, \quad z_2 = 5 + \sqrt{3} i$$

とする。ただし,  $i$  は虚数単位である。次の問い合わせよ。

(1)  $|z_1|$ ,  $|z_2|$  を求めよ。

(2)  $\frac{z_2}{z_1}$  および  $\angle POQ$  を求めよ。

(3)  $O$  を中心に  $P$ ,  $Q$  をそれぞれ角  $\frac{\pi}{6}$  だけ回転させた点を  $P'(z'_1)$ ,  $Q'(z'_2)$  とする。

(i)  $z'_1$ ,  $z'_2$  を求めよ。

(ii) 線分  $OQ$  と  $P'Q'$  の交点を  $R(w)$  とする。 $w$  を求めよ。

(iii)  $\triangle OPQ$  と  $\triangle OP'Q'$  の重なる部分の面積  $S$  を求めよ。

数学の試験問題は次に続く。

## 9

(医学部)

1辺の長さが1の立方体がある。立方体の頂点PとQに対し、線分PQの長さが1であるとき、QをPと隣接する頂点という。

立方体上に、次の規則に従って位置が決まる点が1つある。その点を動点とよぶこととする。

- ① 時刻  $t = 0$ において、動点は立方体のある頂点にいる。その頂点をOで表す。
- ②  $n$ を0以上の整数とする。時刻  $t = n + 1$ において、動点は時刻  $t = n$ のときに入た頂点Pに  $\frac{1}{4}$  の確率で留まるか、もしくはPと隣接する3つの頂点のいずれかへそれぞれ  $\frac{1}{4}$  の確率で移る。

次の問い合わせよ。

- (1) 時刻  $t = 2$ において動点がOと隣接する頂点にいる確率を求めよ。
- (2) 時刻  $t = 3$ において動点がOと隣接する頂点にいる確率を求めよ。
- (3) 時刻  $t = 4$ において動点がOと隣接する頂点にいる確率を求めよ。
- (4) 時刻  $t = 5$ において動点がOと隣接する頂点にいる確率を求めよ。